



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department

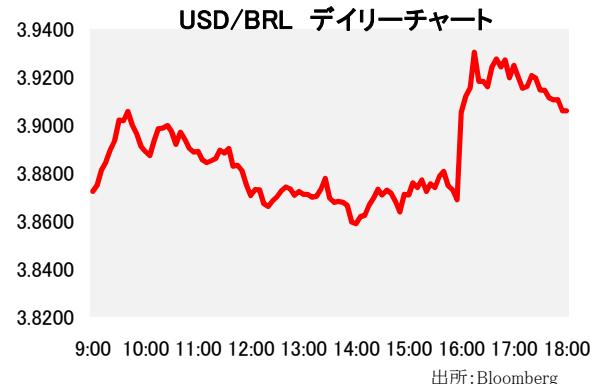
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

		10月22日	10月23日	10月26日	10月27日	10月28日	Net Chg	
為替	USD/BRL	Spot	3.9060	3.8760	3.9070	3.8880	3.9060	+0.0180
	BRL/JPY	Spot	30.90	31.31	30.98	30.96	31.01	+0.05
	EUR/USD	Spot	1.1107	1.1012	1.1049	1.1044	1.0921	-0.0123
	USD/JPY	Spot	120.71	121.42	121.03	120.39	121.13	+0.74
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14.678	14.735	14.724	14.700	14.765	+0.065
	Future	1Year(p.a.)	15.187	15.252	15.240	15.119	15.277	+0.158
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.800	2.925	3.019	3.037	3.143	+0.106
	USD	1Year(p.a.)	3.878	3.955	3.684	3.662	3.978	+0.316
株式	Bovespa指数		47,772	47,597	47,209	47,043	46,741	-302
CDS	CDS Brazil 5y		465.28	454.98	450.00	442.67	446.98	+4.32
商品	CRB指数		195.611	193.715	192.280	191.336	195.074	+3.74

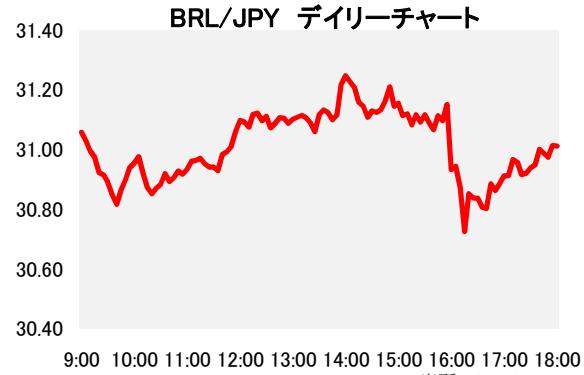
* これらはインバウンド市場等における「**ブラジル**市場終了時のインデイケーション」です。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要經濟指標



3.要人コメント

FOMC声明文	経済活動は前回の会合から緩やかなベースでの拡大が続いている。次回会合で利上げ決定に向けた進展を判断する。
---------	--



4. トピックス

- 本日のレアルは3.8880で寄り付いた。FOMCを前にリスクオフムードでボベスパ指数先物が軟調に推移すると、レアルも寄付きから売られて3.90台まで下落した。しかし、米国の住宅指標が前月から大幅に悪化したことを受けドルが売られるとレアルは反発した。更に、原油価格が大幅高となると株式市場が堅調に推移し、レアルは本日の高値となる3.8570まで上昇した。しかし、夕方に発表されたFOMCの声明文で年内の利上げが示唆されたことを受けドルが急反発すると、レアルは本日の安値となる3.9350まで約2%急落した。引けにかけてはレアルの買戻しが出て3.9060でクローズした。
 - 昨日から行われていたFOMCが終了し、政策金利は大方の予想通り据え置かれたが、12月のFOMCで利上げの是非を検討すると発表された。また、世界情勢が成長を抑制する可能性があるという文言は外された。最近の弱い米経済指標を受けて年内利上げ観測が後退していたことから、この示唆はサプライズとなりドルは全面高の展開となった。米国株式はFOMC声明を受けて急落したが、引けにかけては急速に買い戻されて前日比プラスで引けた。一方、ボベスパ指数は急落後の戻りが弱く、4日続落となった。
 - 米国エネルギー省の統計では原油在庫が上昇したものの、米製油所の稼働率が上昇したことを見て、原油需要に対する期待が高まりWTI先物は急反発した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方に於て利用されることを意図しております。当資料内にかかる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に生じるかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断・ご了承下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は告白なしに変更するものとあります。当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客を除く一般投資家への配布をすこなけきません。